

補足資料

高等学校で学校生活に困難を抱える生徒の支援について

～授業場面における支援を中心にして～

愛媛大学 教育学研究科 特別支援教育専攻 特別支援教育コーディネーター専修 花熊暁研究室
高知県立大方高等学校 教諭 中村佳子

■調査1 勤務校における実態調査

表1 O 高校昼間部教員への質問事項

①	「理想の授業」と聞くと、どんな状態を思い浮かべますか？
②	授業中に、何がどうなってほしいと思いますか？
③	授業中、気になる生徒はいますか？ (どのような生徒が、気になりますか？)
④	気になる生徒がいる中、どうやって今までやってこられたのですか？(どのような工夫(対応・指導・支援)をしてきたのですか？)
⑤	これまでやってこられたことで、これは上手くいった！と思った時は、どんな時でしたか？(先生がやってきたことで、生徒に変化が見られた時は、どんな場面でしたか？)
⑥	今も続けて取り組んでいることは、どんなことですか？
⑦	上手くいったことや続けて取り組んでいることを、他の先生方に伝えたことはありますか？ →どんな取り組みを伝えましたか？
⑧	反対に、他の先生から、授業で工夫したことや上手くいった経験を聞いたことはありますか？ →それはどんな内容でしたか？ →実際にご自分が、試してみた内容がありますか？
⑨	授業での工夫や上手くいった体験などを、他の先生方と話し合うことはありますか？
⑩	これまで授業をやってくるのに、どんなことが助けになってきましたか？
⑪	気になる生徒に、どう接したらいいのか(どういう工夫をしたらいいのか)悩むことはありますか？ →そんな時は、どうしていますか？
⑫	今後やってみよう！と思っていることがあれば教えてください。
⑬	他に何かありませんか？

■調査2 先進校での取組み調査

表2 先進校での取組み調査対象校および地域名

A校	B校	C校	D校	E校	F校
長崎県 私立(ア)	福岡県 私立(ア)	熊本県 県立(ア)	長崎県 県立(ア)	京都府 府立(ア)	大阪府 専修(イ)
G校	H校	I校	J校	K校	L校
三重県 県立(ア)	長野県 県立(ア)	神奈川県 県立(ア)	千葉県 県立(ア)	東京都 私立(イ)	東京都 国立(ア)
M校	N校	P校	Q校	R校	S校
東京都 国立(ア)	高知県 県立(ア)	愛媛県 県立(ウ)	愛媛県 私立(ウ)	愛媛県 私立(ウ)	愛媛県 県立(ウ)

ア	国のモデル事業実施校*	1 2校
イ	先進的な取り組みを行っており、特別な支援を要する生徒が多く在籍する学校	2校
ウ	個別支援を必要とする生徒が多く在籍していると考えられる松山市内の高校	4校

*文部科学省が平成19年度から「高等学校における発達障害支援モデル事業」を実施している。各モデル校の研究内容は、以下の大きく6つに分けられる。

- ①生徒に対する指導方法
- ②授業方法や評価方法等の工夫
- ③就労支援
- ④一般生徒に対する理解推進等の指導の在り方
- ⑤教職員や保護者の研修等
- ⑥その他の支援に関する工夫

表3 先進校訪問での質問内容

①	<p>生徒に対する支援の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 支援が必要な生徒の実態把握の仕方 <input type="checkbox"/> 支援が必要な生徒の割合 <input type="checkbox"/> 本人の学習面・生活面での課題と解決に向けての取り組み <input type="checkbox"/> 個に応じた教科からのアプローチの仕方 <input type="checkbox"/> 生徒の生活しやすい人間関係・環境づくり <input type="checkbox"/> 一人一人のニーズに応じた支援・配慮の在り方、進め方 <input type="checkbox"/> 担任や教科担当の教師との連携 <input type="checkbox"/> 関係機関・専門家との連携による支援 <input type="checkbox"/> 支援員などの配置、複数教員等の配慮 <input type="checkbox"/> 教室以外の場の確保の有無
②	<p>社会的自立に向けての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生徒の高校3年間と卒業後を見通した目標設定・個別の指導計画、支援計画の作成 <input type="checkbox"/> 進路実現に向けて具体的な取り組み <input type="checkbox"/> 進路保障に関する課題 <input type="checkbox"/> 進路先の受け入れ状況に関する情報の有無・情報収集など <input type="checkbox"/> 進学先への生徒の情報提供 <input type="checkbox"/> 職場の現状と支援の仕方 <input type="checkbox"/> 気になる生徒の卒業後の関係 <input type="checkbox"/> 関係機関との連携による就労支援の在り方
③	<p>特別支援コーディネーターの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 校内での支援体制づくり
④	<p>教職員への研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発達障害の教職員理解への取り組み <input type="checkbox"/> 校内研修の実施において重要視していること
⑤	<p>保護者の理解・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 保護者との連携方法 <input type="checkbox"/> 地域・保護者への啓発と理解
⑥	<p>一般生徒に対する理解推進等の指導の在り方</p>
⑦	<p>その他の支援に関する工夫</p>
⑧	<p>高校ならではの課題、解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 修得（単位認定）・評価方法に関する課題 <input type="checkbox"/> 出欠、遅刻、早退、中抜などの規則への柔軟性 <input type="checkbox"/> 新たな制度の取り入れや取り決め
⑨	<p>中学校からの受入に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校での支援体制の整備状況等、中学校への情報発信 <input type="checkbox"/> 受験前の情報提供 <input type="checkbox"/> 入学前での保護者や学校からの情報提供
⑩	<p>これまでの課題と今後取り組みたい実践</p>

■調査3 関係機関での実態調査

表8 発達障害支援専門機関での質問内容

①	各機関の事業内容・サービス
②	利用者（受講者）の特徴
③	相談内容
④	就労の実現に必要なことは
⑤	高校に期待することは